

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、令和4年3月末現在では、佐倉市の総人口171,747人に対し志津地区の人口が75,348人となっており、その割合は43.9%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成27年11月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

志津地区のデータ

【令和4年3月末現在】

- | | | | |
|------------|------------------------|-----------|--------------------------|
| ○志津地区：面 積 | 18.52km ² | （佐倉市：面 積 | 103.69km ² ） |
| ○志津地区：住基人口 | 75,348人 | （佐倉市：住基人口 | 171,747人） |
| ○志津地区：人口密度 | 4,068人/km ² | （佐倉市：人口密度 | 1,656人/km ² ） |

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

佐倉市立公民館活動計画の基本理念を踏まえ、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染防止拡大に努める。
- 多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。
- 学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。
- 学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。
- 複合施設（志津市民プラザ）としての機能を効果的に発揮するため調整を行う。

事業内容

1. 学級講座の開設

家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容充実。

2. グループや団体の育成援助

公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成援助。

子ども会をはじめ青少年の健全育成を推進する各種団体への援助と相互連携。

3. 広報活動

市民への情報提供や意見交換の場としての公民館だよりの発行と各種情報資料等の収集整備と提供。

4. 図書活動

郷土学習などを中心とした図書の整備と館外貸し出し、及び図書館との連携。

5. 施設の提供

原則として2か月前の月初めの日から使用申込みの予約を受け付け、使用許可書を交付する。

- ・開館日時 ①日・月曜日、祝日 9時～17時
 ②火・水・木・金・土曜日 9時～21時
 ＊夜間の使用申込みがない場合は17時で閉館
- ・休館日 第2・第4月曜日及び年末年始12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用件数 (件)	7, 273	7, 453	6, 888	2, 226	5, 343
利用人数 (人)	91, 992	92, 177	85, 649	20, 144	45, 978
開館日数 (日)	333	333	309	235	333

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する対応

令和 3 年 8 月 4 日～9 月 3 0 日・・・千葉県に緊急事態宣言が発令されたため、

開館時間は午後 8 時まで

令和 3 年 1 1 月 1 5 日～・・・調理室の貸出を再開。ただし飲食は水分補給を除き不可とする

令和 3 年度部屋別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
2 1 0 会議室	3, 603	1, 742	48. 3%
2 2 0 会議室	3, 603	1, 609	44. 7%
2 0 1 会議室	3, 603	1, 135	31. 5%
2 0 2 会議室	3, 603	1, 158	32. 1%
調理室	1, 316	32	2. 4%
3 1 0 会議室	3, 603	1, 441	40. 0%
和室	3, 603	693	19. 2%
4 0 1 会議室	3, 603	1, 323	36. 7%
アトリエ	3, 603	1, 238	34. 4%
大会議室 A	3, 603	2, 239	62. 1%
大会議室 B	3, 603	2, 301	63. 9%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、線引き事業については中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内 容
家庭教育	笑顔で子育て 応援講座	子どもと保護者	5月～ 3月 7/17 2人 3/8	子どもが健全に育つため、親子で参加できる 体験学習講座を行い、親子のふれあいを図 る。 7/17 ひとりで抱え込まない子育て 3/8 ハッピーマインドヨガ
青少年教育	志津子ども教室	小学生	5月～ 3月 8/ 2 17人 8/ 3 7人 8/ 4 17人 12/18.19 91人 12/18 21人 12/25 20人 2/19	体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる 楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育 む。 8/ 2 廃食油で作る「エコキャンドル」 8/ 3 地震・台風について考えよう！ 8/ 4 縄文体験学習「古代にふれてみよう！」 12/18 たこづくり大作戦！ 12/19 たこづくり大作戦！ 12/18 親子で作ろう やさしい寄せ植え 12/25 志津地区に伝わる伝統の辻ざり作り 親子体験 2/19 廃食油で作るエコせっけん
	ちょこボラ (公民館でちょこっと ボランティア)	中学生 高校生	通年	青少年が職場体験学習をすることで、地域の 人とのふれあいや公民館で働く職員と接する ことを通して、社会的自立や豊かな人間性を 育むことを期待する。
成人教育	しづ市民大学			
	しづ学入門	成人 30人	5月～12月 7回 土曜日 開講式 5/22 閉講式 12/11 講座 5/22～ 12/11	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、 自らの学び経験をとおして地域社会の活性化 に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実 現を図る。 平均：71歳、男性19人・女性11人
	健康とくらし	成人 30人	5月～11月 7回 火曜日 開講式 5/25 閉講式 11/16 講座 5/25～ 11/16	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、 様々な情報を学びを通じて、地域の中で連帯 を図る。 平均：74歳、男性 9人・女性21人
	佐倉学特別講座 (講演会)	成人 30人	8月～ 2月 1回 11/27 49人	佐倉の歴史等に関する講座を開催する。 11/27 佐倉の城・城下町の記憶と歴史資源
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を 学ぶ」	成人 10人	11月～ 2月 11/ 4 10人 11/11 9人 11/18 9人 11/25 9人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区 について知識を深め、地域の遺跡を学ぶこと で、郷土愛や歴史文化への意識を高める。
	佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」	成人 6人	9月～12月 9/22 11人 9/29 11人 10/ 6 11人 10/13 ※雨天延期 10/20 10人 10/27 11人 11/ 3 10人	「佐倉学」の普及を図りながら、佐倉城主が 通った「佐倉道」を歩き、城下町佐倉や周辺 地域の歴史も含めて理解を深める。 9/22 座学：佐倉道を歩く（序論） 9/29 散策：江戸川～東中山 10/ 6 散策：東中山～薬園台 10/13 散策：雨天延期10月27日 10/20 散策：勝田台～臼井 10/27 散策：薬園台～勝田台 11/ 3 散策：臼井～佐倉城大手門跡
	佐倉学入門講座・地 域人材育成講座 「成田道を歩く」	成人 7人	9月～12月 11/25 7人 12/ 2 7人 12/ 9 7人	「佐倉学」の普及を図りながら、郷土愛を育 み、関心を高める。また、佐倉市の歴史を学 習することで、郷土佐倉の創生に繋げること を目的とする。 11/25 散策：京成佐倉～京成酒々井 12/ 2 散策：京成酒々井～公津の杜 12/ 9 散策：公津の杜～成田山総門前 (寺台含)
	包丁について学ぶ	成人 6人	8月～ 2月 1回 11/30 6人	コロナウイルス感染症のため、ステイホーム (在宅)する時間が増え、料理に興味を持つ 方も増えている報道がある。そこで、調理講 座はできないが、包丁研ぎを学び、料理に役 立てていただく。

領 域	事 業 名	対 象	期 間 ・ 回 数	内 容
団 体 育 成	サークル運営 研修会	公民館利用サークル 代表者約120人	4月～ 5月 ※令和3年度については 書面開催 4/15 発送	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、 自主性を高め地域活動につなげる。 ・ 発送数 421団体
	調理室利用 サークル懇談会	調理室利用サークル	6月・11月・2回 ※感染状況を見ながら 実施予定	調理室の効果的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。
	志津地区社会教育 関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。
	公民館園芸ボラン ティア団体への 支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広 報 活 動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区各戸配布 市内主要施設配布	4/15・10/1 各12,000部発行	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、 公民館活動への理解と認識を深めるとともに、 各事業の参加募集を行う。

1. 家庭教育事業

笑顔で子育て応援講座

(1)「ひとりで抱え込まない子育て」

- ① 開設趣旨 子育てに対して学びを深めたい方に向けて、子育てに取り組む方法や自己や子どもと向き合う姿勢を学ぶ。
- ② 募集対象 (1) 保護者10人
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者
1	7月17日(土)	子育て講演会	子育てをする保護者自身の自己肯定感について学ぶ。	廣田 和子

④ 講座を終えて

「ひとりで抱え込まない子育て」 今回は、新型コロナウイルス感染症の対策のため、受付時、検温・健康チェック・手指消毒、講座中は、換気を実施し、感染拡大防止に努めた。講演会であったが、ワークショップの形も取り入れ、受講生自らが自分の内面を言語化する作業を行い、お互いに共有をしあった。アンケート結果を見ると、自己肯定感を持つことの大切さや、将来の夢、今後の目標を定める事など、具体的な学びがあったことがわかる。今後は体験型の講座も検討していきたい。

(2)「ハッピーマインドヨガ」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 志津子ども教室

- ① 開設趣旨 自分で手作りする機会や体験する機会が少なくなったと言われる現代において、佐倉の地域素材を織り交ぜながら、体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む機会とする。
- ② 募集対象 小学生
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	8月 2日(月)	廃食油で作る「エコキャンドル」	廃食油や空き瓶を再利用してキャンドルを作る	千葉県地球温暖化防止活動推進委員 廣田 由紀恵
2	8月 3日(火)	防災学習「地震・台風について考えよう！」	備えと災害時の心構えについて学習する	日本赤十字社千葉県支部所属 赤十字防災ボランティアリーダー 清水 重彦
3	8月 4日(水)	縄文体験学習「古代にふれてみよう！」	本物の縄文土器に触れ、実際に勾玉を作成する	千葉県教育庁教育振興部文化財課 宿城 孝義
4	12月18日(土) 12月19日(日)	たこ作り大作戦！	たこ作りキットを配布し、各家で制作する	児童青少年課 青少年住民育成会議
5	12月18日(土)	親子で作ろう やさしい寄せ植え	親子で協力して寄せ植え製作する	ハンギング バスケット協会 高橋洋子
6	12月25日(土)	志津地区に伝わる 伝統の辻ぎり作り 親子体験	佐倉の地域素材を織り交ぜながら、辻ぎり体験を行う	志津歴史同好会
7	2月19日(土)	廃食油で作るエコ せっけん	廃食油を再利用して石鹸を作る	千葉県地球温暖化防止活動推進委員 廣田 由紀恵
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止				

- ④ 講座を終えて ちば電子申請サービスを利用して受講受付を行ったが、従来の電話申込を超える多くの申し込みがあり、参加した子どもたちのアンケートでは9割以上が楽しかったと好評だった。今年度は、環境や防災といった生活に関わる講座を新たに実施した。来年度以降も、子どもたちの興味関心につながる佐倉っ子塾志津子ども教室を実施していきたい。

3. 成人教育事業

しづ市民大学（第32期）

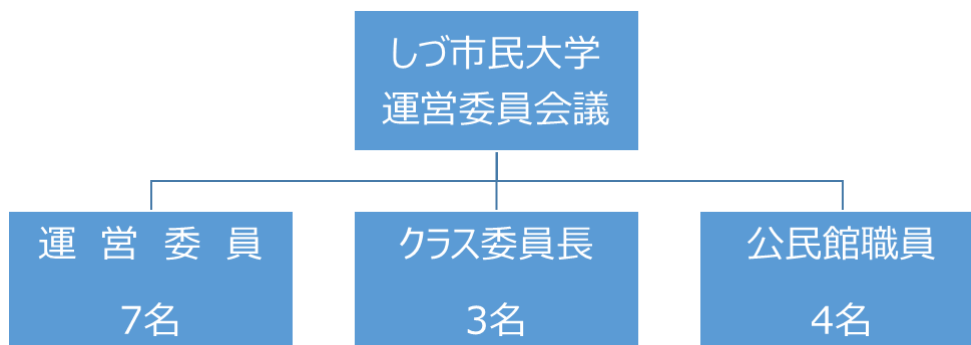
- ① 開設趣旨 志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

- (1) 自主的な学習活動の促進
(個人的な参加型の学習から地域への展開)
 - (2) 生涯学習を進めるまちづくり
(地域社会の活性化)

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【しづ市民大学運営関係図】



- ② 募集対象、募集人員

・しづ学入門	成人	30人
・健康とくらし	成人	30人

- ③ 学習目標

- ・しづ学入門 地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をととして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現に寄与する。
- ・健康とくらし 地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、様々な情報を学び、地域に還元することを目指す。

④ プログラム

しづ市民大学 「 しづ学入門 」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月22日(土) 9:30～13:00	開講式・ホームルーム・自己紹介等 1年間を充実した時間にするための仲間づくり 【志津公民館 大会議室A】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子 クラス委員・運営委員
2	6月26日(土) 9:30～12:00	志津地域の史跡と名所 【志津公民館 大会議室A】	郷土史研究家 宮武 孝吉
3	7月24日(土) 9:30～12:00	絵図から見る志津地域のあゆみ 【志津公民館 大会議室A】	酒々井町文化財審議会 高橋 健一
4	9月25日(土) 9:30～12:00	志津地域の史跡と名所② 【志津公民館 大会議室A】	郷土史研究家 宮武 孝吉
5	10月23日(土) 9:30～12:00	井野長割遺跡について学ぶ 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市教育委員会 文化課 職員
6	11月13日(土) 9:30～12:00	絵図から見る佐倉城下町 【志津公民館 大会議室A】	國學院大學兼任講師 川名 禎
7	12月11日(土) 9:30～13:00	近代史料からみた佐倉の人々の生活史 閉講式 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市史編さん委員 中澤 恵子 クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「 健康とくらし 」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月25日(火) 9:30～13:00	開講式・ホームルーム・自己紹介等 1年間を充実した時間にするための仲間づくり 【志津公民館 大会議室A】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子 クラス担当・運営委員
2	6月22日(火) 9:30～12:00	四季の栄養を考える 【志津公民館 大会議室A】	管理栄養士 六崎 美知代
3	7月20日(火) 9:30～12:00	口から始まる健康習慣 【志津公民館 大会議室A】	健康増進課 職員
4	8月31日(火) 9:30～12:00	いざというときの避難所運営ゲームを体験 ※ 【志津公民館 大会議室A】	危機管理室 職員
5	9月28日(火) 9:30～12:00	パラリンピック競技「ボッチャ」の体験 【志津公民館 大会議室AB】	元佐倉市職員
6	10月28日(木) 10:00～12:00	スポーツの秋！スポーツクラブ体験 【オークスベストフィットネス上志津】	オークスベスト
7	11月16日(火) 9:30～13:00	モノが片付くと心もすっきりって本当！？ 閉講式 【志津公民館 大会議室A】	整理収納アドバイザー 和泉 きよい クラス委員・運営委員

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12月14日に実施

⑤ 講座を終えて

「しづ学入門」 自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目的に、志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度のしづ学入門講座は、例年より講座数を減らしたうえで、歴史・文化の講座がすべて講話での学習となった。本コースは初めてという受講者も多く、今まで知らなかった志津地区の歴史を学べたことで愛着が生まれたとの声も聴こえ、講座の内容については高評価が得られたと考えている。その一方で、7回では受講生同士の交流が少なく物足りない、散策も体験したかった、講師の急逝により貴重な話を受講できなかったことが残念、等々の意見もあがった。コロナ禍の中でできる限りの事業を行ったが、受講生には不完全燃焼のように感じられたということであろう。次年度以降の講座数については国内や近隣市町村の情勢も見ながら考えていくことになると思われるが、少しずつでも講座の回数を増やし、有益な講座への強化を今後も図っていきたい。

「健康とくらし」 地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学を通じて地域の連帯を図り、この成果を生かした「まちづくり」に貢献、地域に還元する事を目指し学習した。今回は例年に比べ講座の回数が少なかったため、初回のレクリエーションを通して班編成を行ったり、班員が何かしらの役割を担うように役職を設定するなど、短い時間の中でも交流をとれるように講座の構成を行った。9月に行った「ボッチャ」の体験では、パラリンピックの翌月ということもあり、とても熱心に取り組まれる受講者が多くみられた。受講後にどこか食事に行き等、課外活動が難しい社会情勢の中ではあったが、朝のホームルームなど限られた中で、積極的に交流を持ち、閉講式では別れを惜しむ受講生のすがたも見られた。来年度は講座の回数を増やすなどして、市民の学習ニーズにより応えられるよう計画していきたい。

佐倉学特別講座（講演会）

- ① 開設趣旨 本講座は、「佐倉学」の普及を図りながら、郷土愛を育み、関心を高めること、また、「佐倉の歴史について学んでみたい」という方々を対象に、佐倉市の歴史を学習することで、郷土佐倉の創生に繋げることを目的として実施する。

今回の講座の内容は、佐倉新町から成田山新勝寺まで故 村田一男氏を偲びながら3日間に分けての散策を設定し成田道について道標等を確認しながら、成田道や佐倉藩に関わる地を巡り、郷土佐倉への理解を深める。

- ② 募集対象 成人 30人

- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月27日(土)	佐倉の城・城下町の記憶と歴史資源	中央大学文学部准教授 佐倉市史編さん委員 宮間 純一

- ④ 講座を終えて 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、当初30人定員で予定していたが、各部屋の定員緩和（大会議室AB計50人定員から100人定員へ緩和）があり、応募者も多数であったことから、多くのかたに受講いただけるよう、50人を当選とした。本講義ではレジュメとパワーポイントでの画像を併用しながら、古文書・建造物等々、地域の「歴史的資源」の必要性を説いた。とりわけ佐倉の中でも大きな歴史的資源である佐倉城址を題材に「城下町としての佐倉」「軍都としての佐倉」、今の佐倉城址はそれぞれの記憶が溶け合う「記憶の場」となっ

ていることを講じ、最後に「記憶を支える歴史資源」として武家屋敷や堀田家の文書等にも触れて幕を閉じた。講座後のアンケートでは講座満足度の「満足」「やや満足」が72%、講座目的達成度の「達成されている」「少し達成されている」が66%であった。このアンケートには今後の講座への希望や意見をしたためた受講生が多く、これからの佐倉学入門講座への期待が伺えた。

佐倉学入門講座「井野長割遺跡を学ぶ」

- ① 開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。
- ② 募集対象 成人 10人
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月4日(木)	考古学入門ー佐倉の縄文時代ー	文化課職員 松田 富美子
2	11月11日(木)	井野長割遺跡とはー遺跡概要紹介ー	文化課職員 山崎 慧
3	11月18日(木)	遺跡探訪ー知識を深めるー (現地見学)	文化課職員 松田 富美子
4	11月25日(木)	遺跡の経緯ー今後についてー	文化課職員 松田 富美子

- ④ 講座を終えて 「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000～3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し、新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。全4回の講座であったが、受講後も講師への質問が多く学習意欲が高いことが伺えた。第4回目では、今後のあり方について学習し、講師の説明を聞き、今後の保存や活用について質問や意見を交換しあうなど活発な学習の場となった。

佐倉学入門講座「佐倉道を歩く」

- ① 開設趣旨 佐倉城及び佐倉城下町造成より400年が経過し、かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」や城下町佐倉の周辺地域の歴史について理解を深め、街道に関する醍醐味を感じてもらいながら郷土への関心を高めていく。また、江戸川から佐倉城址までを周辺の史跡も含めて全6回に分けて学び、地域で活躍できる人材を育成する。
- ② 募集対象 成人 6人

③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	9月22日(水)	佐倉道を歩く(序論)	佐倉道を歩く会
2	9月29日(水)	江戸川～東中山	
3	10月6日(水)	東中山～薬円台	
4	10月13日(水)	薬円台～勝田台※雨天順延10月27日	
5	10月20日(水)	勝田台～臼井	
6	10月27日(水)	薬円台～勝田台	
7	11月3日(水)	臼井～大手門跡	

- ④ 講座を終えて この講座は、佐倉道に関して街道の史跡についての座学と散策として実施した。さらには、コロナ禍の実施ということもあり、最小限の人数、参加者はしづ市民大学受講生の中からの希望者、実施の際の都度検温等の実施などできる事は全て行ったうえで実施した。初回は、「佐倉道に関する総論」として佐倉道の全体像等の講義を行い、2回目以降は座学で学んだ場所を実際に散策した。散策は現地集合、現地解散の形をとり、街道沿いの史跡散策を実施した。散策は受講生同士が学びや意見交換を啓発することを意図した。散策中は、周囲に注意し事故などにも配慮し効率的に学習をすすめることができた。また、今回の実施は、平成30年度の受講生がボランティア講師としての初の講座であり座学から散策までの講座終了まで成長と成果を魅せていただけた。散策によくある遅れがちな受講生へのサポートもしてくれたため受講生が講師の話の聞き逃がすことがなかった。アンケートでは、概ね好評な結果であった。今回の散策も全員が同じ食事処で昼食をとることで受講生同士の親睦が図れた。歴史を感じることができた。新たな発見があった等の声を聞くことができた。今回の講座では過去の受講生が講師となりガイドをしてくれたが、参加者からはわかりやすい等の声も聞くことができた。

佐倉学入門講座・地域人材育成講座「成田道を歩く」

- ① 開設趣旨 本講座は、「佐倉学」の普及を図りながら、郷土愛を育み、関心を高めること。また、「佐倉の歴史について学んでみたい」という方々を対象に、佐倉市の歴史を学習することで、郷土佐倉の創生に繋げることを目的として実施する。

今回の講座の内容は、佐倉新町から成田山新勝寺まで故 村田一男氏を偲びながら3日間に分けての散策を設定し成田道について道標等を確認しながら、成田道や佐倉藩に関わる地を巡り、郷土佐倉への理解を深める。

- ② 募集対象 成人 7人
③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月25日(木)	京成佐倉～京成酒々井	佐倉道を歩く会
2	12月2日(木)	京成酒々井～公津の杜	
3	12月9日(木)	公津の杜～成田山総門前(寺台含)	

- ④ 講座を終えて この講座は、成田道に関して街道の史跡についての散策を通して学んだ。また、今回の実施については、8月に逝去された「村田一男先生」を慕い集まった教え子の方々と村田先生を偲びながら実施した。さらには、コロナ禍の実施ということもあり、最小限の人数、実施の際の都度検温等の実施などできる事は全て行っただけで実施した。散策は、村田先生が生前作成した「資料」を基に史跡等の学習と確認をしながら進め、村田先生から教わった成田道の当時の役割も考えながら成田道や佐倉藩に関わる地を巡った。

包丁について学ぶ

- ① 開設趣旨 今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、ステイホーム（在宅）する時間が増え、料理に興味を持つ方も増えている報道がある。そこで、調理講座はできないが、包丁研ぎを学び、料理に役立てる。
- ② 募集対象 成人 6人
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月30日(火)	包丁の歴史・製法・手入れ方法	調理師 山崎 憲

- ④ 講座を終えて コロナウイルス感染症の対策として、定員を絞り講座を行った。座学では包丁に関する歴史や製法、その材質等幅広く学び、実際に包丁研ぎ体験を行った。体験では包丁の扱いに慣れない方から、普段から包丁研ぎを行っている方まで様々だったが、少人数であったため、一人ひとりに先生が指導を行う事ができ、アンケート結果でも満足度の高い講座となった。受講生からは包丁の扱い方に関する質問が多く、家で実践することを前提に受講されている様子であった。

4. 団体育成事業

サークル運営研修会（書面開催）

- ① 開設趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として書面による開催とした。
- ② 募集対象 志津公民館利用グループ・団体の代表者
- ③ 学習内容
 - ・志津公民館の施設使用について
 - ・公民館の役割について
 - ・令和3年度志津公民館サークル運営研修会ご意見等提出用紙による意見交換
 - ・第47回志津公民館祭について
- ④ 今後に向けて 各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し実施した。公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに則した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

調理室利用サークル懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

志津地区社会教育関係団体への援助

- ① 概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- ② 加入団体 単位子ども会 8団体
- ③ 活動内容
 - ・活動支援相談・連絡調整

公民館園芸ボランティア団体への支援

- ① 概要 志津園芸サークル「花の輪」は、以前志津公民館で開催していた「園芸講座」を受講した人たちが、公民館や上座公園の敷地内の花壇等の手入れをボランティアとして行い、かつ園芸講座の講師に、引き続き花の知識等を教わりながら、活動を継続している。公民館は、それらにおける園芸・学習活動の支援を継続している。
- ② 主な活動
 - ・公民館敷地内の花壇の手入れ
 - ・上座公園の花の手入れ
 - ・花についての自主学習

5. 広報・展示事業

志津公民館だより「しづ」の発行

- ① ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
- ② 発行回数 年2回（4月・10月）
- ③ 発行部数 各回12,000部
- ④ 配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架
- ⑤ 内容

第249号 (令和3年4月15日)	第250号 (令和3年10月1日)
●募集案内（主催事業） ・しづ市民大学 ・笑顔で子育て応援講座 ●お知らせ ・令和3年度志津公民館サークル運営研修会（書面開催）について ・第47回志津公民館祭について ・サークルの登録情報変更について ・臨時休館の際のご連絡について ・サークル団体情報掲示スペースについて	●募集案内（主催事業） ・佐倉学入門講座 講演会 佐倉の城・城下町の記憶と歴史資源 ・佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ ・お家時間応援講座 包丁について学ぶ ●お知らせ ・志津公民館インターネット抽選に申し込まれる方へ ・駐車場を利用される方へ ・公民館来た時よりも美しく

- ⑥ 今後に向けて 今年度は、年2回「公民館だより」を発行した。これまで、サークル団体情報掲示スペースは団体の解散届の提出、返却や消去依頼があるまで掲示したままであったが、令和3年度から1年ごとの更新制としたことを広く周知することができた。志津公民館は800団体を超える利用登録があるため、引き続き公民館だよりを活用して情報発信を行っていきたい。